



第17回 「Claude Code in Action」 第5回
Anthropic 公式 Claude Academy

Claude Code

自動で差し込む（実践）

公式の教材を、順番に

原石工房

隠れた才能に気づき、花開く

この資料について



原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）Claude Code in Action / Hooks

第12回「自動で差し込む」の実践編にあたります

全51回の、今日はここ



原石工房

Claude Code 101

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

第1回～第12回

Claude Code in Action

13 14 15 16 17 18 19 20 21

第13回～第21回

スキル

22 23 24 25 26 27

第22回～第27回

手分け (subagents)

28 29 30 31

第28回～第31回

MCP 入門

32 33 34 35 36 37 38 39 40

第32回～第40回

MCP 応用

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51

第41回～第51回

今日はここ 第17回

今日のレッスン



原石工房

Claude Code in Action の第5回

原題 Hooks

訳 自動で差し込む（実践）

第12回で「何ができるか」を見ました。今回は「どう組むか」です

このレッスンの流れ



原石工房

教材の並びどおり。この番号が、このあとの見出しに出てきます

- ① フックが動く場面
- ② 判断を JSON で返す
- ③ 終わりに返す番号
- ④ 止めるのではなく、塗りつぶす
- ⑤ 圧縮をまたいで、覚えておかせる

たいてい、が、いつも、に変わる



原石工房

原文では、見出しのない書き出しの部分

Claude には、やってくれるときとくれないときがあります

フックは、決まった場面で、こちらの書いたものを確かに動かします

「たいてい聞いてくれる」が「それを飛ばせない」に変わります

① フックが動く場面



原石工房

原題 The hook events

ループの流れに合わせて、場面が並ぶ

SessionStart

始めたとき。圧縮のあとの入れ直しもここ

PreToolUse

道具を使う前。実際に止められる

PostToolUse

うまく終わったあと。整える・点検する

Stop

手番を終えようとしたとき。終わるのを断れる

PreCompact / PostCompact

圧縮の前と後

InstructionsLoaded

決まりのファイルが読み込まれたとき

圧縮のあとに入れ直すのは PostCompact ではなく SessionStart

止めたいなら、使う前の場面で

始めたとき／道具を使う前／終わったあと／手番を終えようとしたとき

圧縮の前と後、決まりのファイルが読み込まれたときにも動きます

実際に止められるのは、道具を使う前の場面です

① フックの使いどころ



原石工房

道具を守る

使う前の場面で

通す・止める・聞く、を返す。止めた理由も伝わる

手番に関所を置く

終わろうとしたときに

条件がそろっていないければ、終わるのを断れる

圧縮をまたいで覚えておかせる

始めたときの場面で

まとめを書いたファイルを、もう一度中身に入れ直す

たいてい守る決まりを、いつも守る決まりに

① 圧縮のあとの入れ直し



原石工房

ループの流れに合わせて、場面が並ぶ

SessionStart

始めたとき。圧縮のあとの入れ直しもここ

PreToolUse

道具を使う前。実際に止められる

PostToolUse

うまく終わったあと。整える・点検する

Stop

手番を終えようとしたとき。終わるのを断れる

PreCompact / PostCompact

圧縮の前と後

InstructionsLoaded

決まりのファイルが読み込まれたとき

圧縮のあとに入れ直すのは PostCompact ではなく SessionStart

止めたいなら、使う前の場面で

圧縮のあとに中身を入れ直したいときは、圧縮の後の場面ではありません

始めたときの場面に「圧縮のあと」という絞り込みを付けて使います

手分けの相手の側にも、終わるとき
の場面があります

② 判断を JSON で返す

原題 PreToolUse: returning a decision as JSON

判断は、4つから選んで返す

allow

通す

deny

止める

ask

こちらに聞く

defer

画面なしのときだけ

いっしょに返すもの

- ・なぜそうしたのかの言い分
 - ・渡す中身を、丸ごと差し替えることもできる
- 丸ごとなので、変えないところも書いて返さないと消える

通す・止める・聞く、を書いて返す

書けるのは4つ。通す／止める／こちらに聞く／画面なしのときだけ

なぜそうしたのかの言い分も、いっしょに返します

渡す中身を、丸ごと差し替えることもできます

② 落とし穴



原石工房

判断は、4つから選んで返す

allow

通す

deny

止める

ask

こちらに聞く

defer

画面なしのときだけ

いっしょに返すもの

- ・なぜそうしたのかの言い分
- ・渡す中身を、丸ごと差し替えることもできる

丸ごとなので、変えないところも書いて返さないと消える

差し替えは「丸ごと」です

変えないところも、そのまま書いて
返さないと消えます

一部だけ直すつもりで書くと、ほか
が落ちます

通す・止める・聞く、を書いて返す

③ 終わりに返す番号



原石工房

原題 Exit codes, for hooks that don't return JSON

いちばん間違えやすいところ

0

うまくいった

書き出した JSON が読み取られる

2

止める

書いた文がそのまま伝わり、道具は動かない

1 など

止めない

記録には残るが、そのまま進む

1 は、いかにも失敗らしく見えるけれど、止めない

※ 使ったあとの場面では、止めるには遅すぎる

止めたいなら、2 を返す

0 なら、書き出した JSON が読み取られます

2 なら止まり、書いた文がそのまま Claude に伝わります

それ以外の番号は、記録に残るだけで、そのまま進みます

③ いちばん間違えやすいところ



原石工房

いちばん間違えやすいところ

0

うまくいった

書き出した JSON が読み取られる

2

止める

書いた文がそのまま伝わり、道具は動かない

1 など

止めない

記録には残るが、そのまま進む

1 は、いかにも失敗らしく見えるけれど、止めない

※ 使ったあとの場面では、止めるには遅すぎる

1 は、いかにも失敗らしく見えますが、止めません

2 なら、手番を終えるのも止められます

道具が動いたあとの場面では、止めるには遅すぎます

止めたいなら、2 を返す

④ 止めるのではなく、塗りつぶす



原石工房

原題 A real guardrail: redact instead of block

やり方は2つある

止める

危ない呼び出しを、そもそもさせない

仕事は、そこで終わる

塗りつぶす

見せてはいけないところだけ抜き取る

仕事は終わり、合言葉は出ない

例：合言葉らしい形を見つけたら、仮の文字に置き換えてから動かす

呼び出しそのものを書き換えるので、残りはそのまま動きます

止めると、危ない呼び出しはそもそもさせません

塗りつぶすと、見せてはいけないところだけ抜き取って動かします

仕事は終わるのに、合言葉は外に出ません

止めずに、見せないという手もある

⑤ 圧縮をまたいで、覚えておさせる



原石工房

原題 Preserving state across a compact

始めたときの場面に「圧縮のあと」の絞り込みを付けて仕掛けます

まとめを書いたファイルの中身を出すと、それがそのまま入り直ります

だから Claude は、やり直すのではなく、続きから進めます

今回のまとめ



原石工房

「たいてい守る」を「飛ばせない」に変えるのがフック

止められるのは、道具を使う前だけ

判断は4つ。言い分もいっしょに返す

1 は止めない。止めたいなら 2

止めずに、見せないという手もある

次回



原石工房

Claude Code in Action の第6回

原題 Routines and headless

訳 定期実行と画面なし

人が開いていなくても動かす回です

全51回の、18回目です

あなたが、飛ばされたくない決まりは何ですか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く